

大學社會責任支持系統

計畫主持人:林從一教授

共同主持人:吳明錡博士

2017.03.13





校務拓展與社會參與 (O&E)

Outreach & Engagement

ex: The Office of University Outreach and Engagement, Michigan State

ex: Department for Social Responsibility and Sustainability, University of Edinburgh

大學社會責任USR
University Social Responsibility

大學社會責任報告USR Report
University Social Responsibility

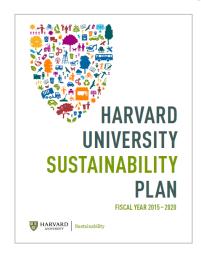
大學永續報告USR
<u>U</u>niversity <u>Sustainability Report</u>

補充:世界高等教育史中的USR

1.美國:贈地大學的傳統 2.英國:紅磚大學的傳統 3.歐盟:伊拉斯莫斯的傳統

4.日本:地域振興的傳統

除了Report更看重Reporting的過程



SUSTAINABLE GALS





































2016 年 10 月,國際大學校長協會(International Association of University Presidents, IAUP) 號召全球大學將 17 項永續發展目標和世界公民意識的理念融入教學、研究、院校中長程發展策略與政策制定之中,並強調校際策略合作的重要性

Local answer to

Global problem

促成全球高等教育教育機構展開合作

《 2030永續發展議程2030》(2030 Agenda for Sustainable Development)、《巴黎協定》(Paris Agreement)、《仙台減災綱領》(Sendai Framework for Disaster Risk Reduction)、《阿迪斯阿貝巴行動議程》(Addis Ababa Action Agenda)和《新城市議程》(New Urban Agenda)



概念界定:殊途同歸的三個路徑

USR/人才培育

Outreach & Engagement

路徑一:經濟價值

產學合作先行 解決社會問題

案例

六級產業→克服地方 經濟動能不足 路徑二:文化價值

地方文化先行 型塑生活風格

案例

社造三期&村落文化

→喚醒地方品牌價值

路徑三:公共價值

社會關懷先行

帶動產業升級

案例

登革熱防治→打造智 慧防疫產業鏈

城/鄉創新的多樣性

USR/人才培育

重新定義

Social Contribution Index

大學作為創新樞紐的三種型態

(anchor Institutions)

象牙塔 / 燈塔 (Ivory tower

理想性/獨立性

第一類型知識

學院知識 單一學科 服務站 (service station)

世俗性/實用性 work for people

第二類型知識

學院知識 跨科際

線性價值鏈

專家

生活實驗室 (living lab)

公共性/開放性 work with people

第三類型知識

學院↔地方 互相滋養/雙向轉譯

區域創新生態系統



概念界定:兩種運作邏輯

模式一:創業型大學 (Entrepreneurial University) 模式二:區域創新生態系統中的大學 (Regional Innovation ecosystem University

強調服務對象的問題和需求 (problem / need) 強調合作對象的能力和資產 (capacity / asset)

假設:大學來解決問題

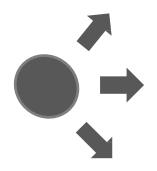
假設:大學與地方互相學習

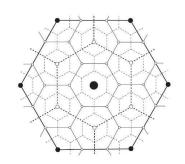
知識商品化 / 研發成果產業化

開放創新 / 社會創新

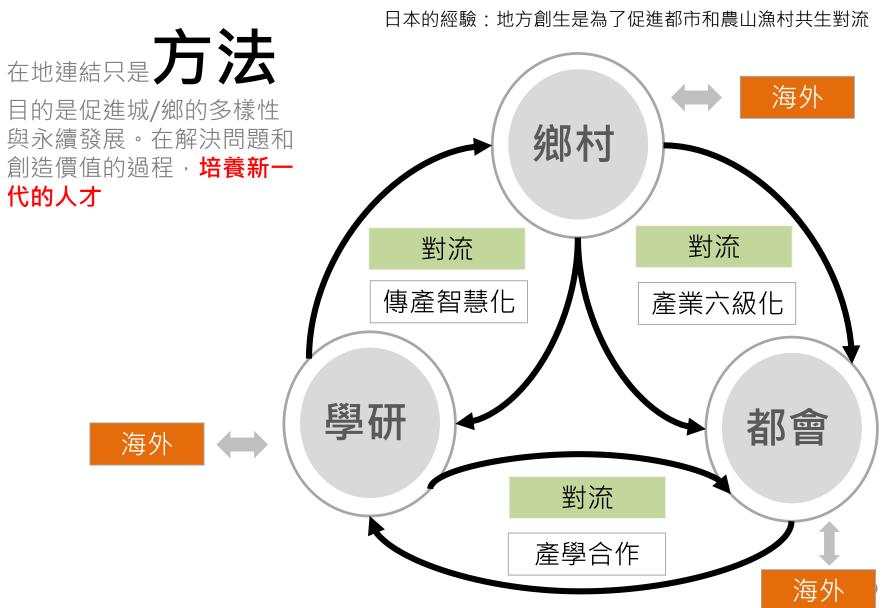
產學、專利、技轉、育成 衍生企業

參與式設計融入:課程、教學、研究











將USR放在高教深耕計畫下來思考

- 1. 如何引導大學校願透過校務拓展與社會參與的過程(O&E),由外而內
 - ,使其所認定的社會責任(USR)能<mark>融入治理架構</mark>之中,讓課程、教學
 - 、學習、體制能有相應的調整?
- 2. 如何促成跨部會間的政策綜效,引動民間資源參與,以有限的資源 培養各校校務經營團隊與學校師生具備轉化限制、劣勢創新的能力 (transform the limitations),以新的方法,驅動區域創新?
- 3. 如何與國際USR社群形成夥伴關係,讓大學校院能以在地議題和實作場域為基礎,連結世界與區域,形成跨國共構之平台,讓大學在參與實作的過程中,提升自身教學、研究、服務和產學合作的創新能耐與知識影響力?

MANCHESTER 1824

USR+深耕的案例

曼徹斯特大學將USR融入校務治理 的五大面向與校務發展計畫之中

The University of Manchester



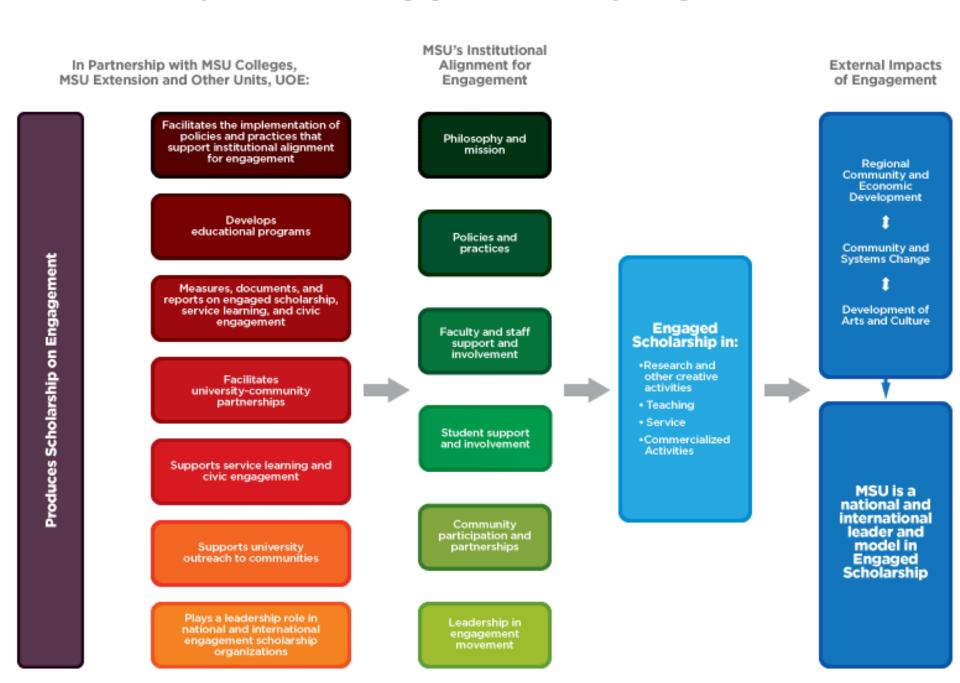
「進行能產生社會影響的研究」 (Research with Impact)

「培育具有責任感的畢業生」 (Responsible Graduates)

「連結大學所在的社區」 (Engaging Our Communities)

「負責任的程序」 (Responsible processes) [,]

「促成環境永續」 (Environmental Sustainability)



USR+深耕的案例,如:配合地方創生的政策,新設特色學院

◆国立大学における特色ある学部等設置の状況(主なもの)

佐賀大学 芸術地域 デザイン学部(H28予定)

産業・文化の振興といった地域ニーズを踏まえ、 アートを通じて地域社会に活力を与えられる人材を 養成。【自治体と連携したフィールド実習、佐賀県 有田窯業大学校の資源を活用した実践教育】

愛媛大学 社会 共創学部(H28予定)

フィールドワークを重視し、水・紙産業の振興など地域社会の持続的発展を担う人材を養成。【県内の自治体・企業と連携し、新たな寄附講座の設置とコンソーシアムの構成】

弘前大学 農学 生命科学部(H28予定)

地域の諸課題を解決し、りんご等の地域農産 物の加工や輸出を促進する人材を養成。

【県内の自治体・企業等と連携し、食関連の知識(製造・分析等)を実技経験をもとに学べるカリキュラムを展開]

秋田大学 国際資源 学部(H26)

新たな資源技術と将来の資源・エネルギー戦略 の発展・革新を担うグローバル人材を養成。

【海外の資源フィールドを活用したグローバル 実習の実施】

長崎大学 多文 化社会学部(H26)

政治・経済、文化、社会活動分野等で存在感をもって国際的に活躍できる人文社会科学系 グローバル人材を養成。【海外体験の必須化 や長崎県の特性を踏まえたオランダ特別コー スの設置】

大分大学 福祉健

医療と福祉を融合し、「地域包括ケア」を実践できる高度な専門性を有したマネジメント力を有したリーダーを養成。【県内の自治体と連携し、医療・福祉地域現場での臨床実習の実施】

康科学部(H28予定)

宮崎大学 地域資源 創成学部(H28予定)

地域資源に新たな価値を創成し、成長産業の 振興と地域活性化を図るため、畜産・農業・ 観光等の地域資源のマネジメント人材を養成。 【県内の自治体・企業等と連携し中山間地等 での課題解決型実習を実施】

山口大学 国際 総合科学部(H27)

国際社会及び科学技術に関する複眼的・総合 的な諸問題の調整・解決に貢献する人材を養 成。【長期留学の必修化、デザイン思考を備 え、自治体・企業と連携した課題解決型プロ ジェクトの実施】

山梨大学 生命 環境学部(H24)

果樹栽培やワイン産業など地域産業の特性を踏まえ、持続的な食料生産と供給を担う幅広い視野を有した人材を養成。【ワイン生産など地域資源を活用した実践的な活動を実施】

宇都宮大学 地域デザ イン科学部(H28_{予定)}

社会制度、まちづくり、防災・減災などの重層 的・複合的な地域課題に対応できる人材を養成。

【県内の自治体・企業等と連携し、全学生が参加する地域プロジェクト演習の実施】

協働学部(H27)

地域の行政・産業の課題解決のため、協働を 通じて産業振興や地域活性化を担う人材を養 成。【県内の自治体・企業と連携して徹底し た実習とステークホルダー参画型の学部運営 を実施】

高知大学 地域

徳島大学 生物資源 産業学部(H28_{予定})

ヘルス・フード・アグリとバイオを融合した生物資源を活用した6次産業化及び産業創出人材を 養成。【徳島県の農場を活用し、県内の自治 体・企業等と連携した実践型フィールド実習の 実施】

信州大学 経法 学部(H28予定)

県内初の法学士を養成し、若者の県外流出に歯止めをかけ、地域の経済・法律における課題に対して、応用的・実践的に予防・解決できる人材を養成。 【地域の司法・行政・企業と連携した現場・実践教育を実施】

地域貢獻型

特色領域型

世界競爭型

【重点支援①】

主として、地域に貢献する取組とともに、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で世界・全国的な教育研究を 推進する取組を中核とする国立大学を支援

北海道教育大学 室蘭工業大学 小樽商科大学 帯広畜産大学 旭川医科大学 北見工業大学 弘前大学 岩手大学 宮城教育大学 秋田大学 山形大学 福島大学 茨城大学 宇都宮大学 群馬大学 埼玉大学 横浜国立大学 新潟大学 長岡技術科学大学

 名古屋工業大学 豊橋技術科学大学

三重大学 滋賀大学 滋賀医科大学 京都教育大学 京都工芸繊維大学 大阪教育大学 兵庫教育大学 奈良教育大学 和歌山大学 鳥取大学 島根大学 山口大学 徳島大学 鳴門教育大学 香川大学 愛媛大学 高知大学 福岡教育大学 佐賀大学 長崎大学 能本大学 大分大学 宮崎大学 鹿児島大学

55大学

琉球大学

【重点支援②】

主として、専門分野の特性に配慮しつつ、強み・特色のある分野で地域というより世界・全国的な教育研究を推進する取組を中核とする国立大学を支援

15大学

【重点支援③】

主として、卓越した成果を創出している海外大学と伍して、 全学的に卓越した教育研究、社会実装を推進する取組 を中核とする国立大学を支援

北海道大学 東北大学 筑波大学 千葉大学 東京大学 東京農工大学 東京工業大学 一橋大学 金沢大学 名古屋大学 京都大学 大阪大学 神戸大学 岡山大学 広島大学 九州大学

16大学

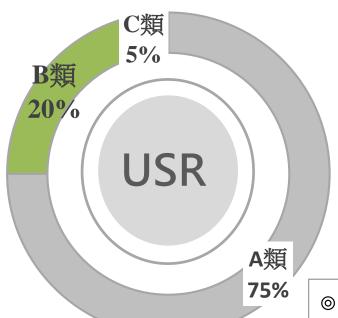


◎C類主要任務

提供到校諮詢、實地交流協助豐富跨域治理 及在地全球化之內涵,擴散台灣USR經驗

◎B類主要任務

推動到校諮詢,實地交流 提供資訊,串聯校內相關 單位及校外相關社群,形 成區域創新生態系統



共通原則:與深耕計畫結合,促動各校體制 創新,將各校認定的USR融入治理架構、課

程地圖和中長程校務發展計畫之中,培養學

校具備轉化限制,劣勢創新的能耐

◎A類主要任務

發展諮輔架構,協助陪伴中心推動各項培力工作



106年度推動重點

觀念 翻轉



投入時間

70%書寫、20%會議、庶務10%



投入時間

60%對話、30%體制、庶務10%

廣泛對話、公共參與是地方創新指南針、方向盤和安全氣囊!!!

A類:種子型

1.徵件前:協助區域中心引導A類計畫從既有方案中舊翻新

2.審查中:協助區域中心發展諮詢輔導架構、工具,並培訓諮輔委員

3.審查後:與區域中心共同啟動諮輔機制,在過程中參與案例討論

B類: 萌芽型

1. 徵件前:辦理焦點座談與實地交流,了解學校推展USR所遭遇之瓶頸

2.審查中:辦理基礎訓練課程,強化主要參與成員推動USR之核心職能

3.審查後:以議題為導向,持續辦理跨校共學,推動共同觀備議課機制

C類:深耕型

1.徵件前:辦理焦點座談與實地交流,了解學校推展USR所遭遇之瓶頸

2.審查中:辦理基礎訓練課程,強化主要參與成員推動USR之核心職能

3.審查後:以參與式設計之精神,引導C類學校設定更具挑戰性之任務



是沒有「能力」,還是沒有「興趣」

①能不能?

問題在哪裡?

沒有夥伴、工具、 方法、缺乏制度 性的支持

②可不可行?

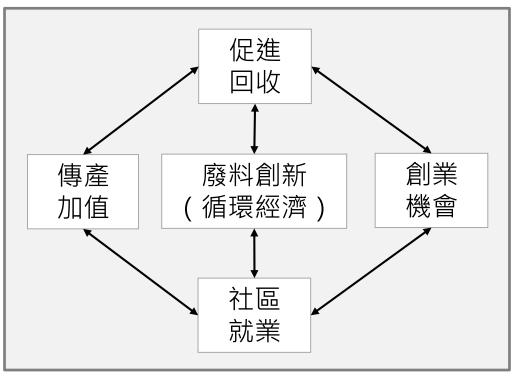
③想不想?



潛在課程 文化再製 惡性循環

失敗的風險和代價太高,讓人裹足不前,不敢冒險?





由外而內,引動校務治理創新,打造以學習者為中心的學習生態系統

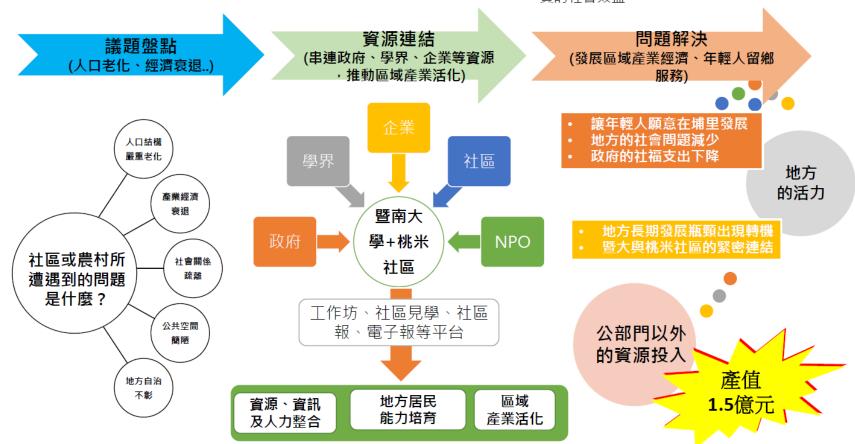
不只是來聽課或被培訓,而是我們一起學,也玩在一起在跨界共學和自我賦權(self-empowerment)的過程我們一起尋出解決問題所需要的知識、夥伴和關鍵資源



USR計畫 -案例說明

無邊界大學計畫~暨南大學帶動南投縣「桃米社區」活化

921地震之後,為了生存、為了地方的發展,桃米社區 與暨大開始有更多的互動,也因為暨大師生長期、真實 的投入,除了慢慢建立共生共好的夥伴關係,也產生實 質的社會效益





一所大學改變地方:科學防疫 成大攜手聯發科創智慧捕蚊燈

図表5 THE世界大学ランキング(2015-2016)における「地域貢献型」大学の順位等

WT II	I		· · · ·		在籍学生数(人)		0	(参考)
順位 (位)	大学名	三つの重点 支援枠	交付金 (億円)	SGU		学部	大学院 等	Q S 社 順位(位)
43	東京	世界トップ型	803	トップ型	27, 348	14,003	13, 345	39
88	京都	世界トップ型	531	トップ型	22, 595	13, 435	9, 160	38
201-250	東北	世界トップ型	456	トップ型	17, 817	11,060	6, 757	74
	東京工業	世界トップ型	212	トップ型	9, 801	4, 761	5, 040	56
251-300	大阪	世界トップ型	443	トップ型	23, 429	15, 524	7, 905	58
301-350	名古屋	世界トップ型	313	トップ型	15, 972	9, 926	6, 046	120
401-500	北海道	世界トップ型	370	トップ型	17, 420	11, 390	6,030	139
1 .	九州	世界トップ型	412	トップ型	18, 846	11, 859	6, 987	142
	東京医科歯科	専門分野型	131	トップ型	2, 906	1, 473	1, 433	391
	首都大学東京	(公立)	-	-	9, 304	6, 987	2, 317	491-500
	筑波	世界トップ型	404	トップ型	16, 454	9, 798	6,656	219
501-600	広島	世界トップ型	247	トップ型	15, 200	10, 959	4, 241	348
	金沢	世界トップ型	162	牽引型	10, 301	7, 932	2, 369	551-600
	慶應義塾	(私立)	-	トップ型	33, 625	28, 855	4, 770	219
	大阪市立	(公立)	-	-	8, 386	6, 565	1,821	651-700
	東京農工	世界トップ型	63	-	5, 744	3, 888	1,856	551-600
601-800	千葉	世界トップ型	174	牽引型	14, 308	10, 772	3, 536	551-600
	愛媛	地域貢献型	129	-	9, 597	8, 358	1, 239	-
1 .	岐阜	地域貢献型	109	-	7, 253	5, 719	1, 534	701+
1 .	順天堂	(私立)	-	-	4, 246	3, 474	772	-
	近畿	(私立)	-	-	32, 538	31,611	927	-
	神戸	世界トップ型	208	_	16, 537	11, 849	4, 688	361
	熊本	地域貢献型	152	牽引型	10, 152	8, 075	2,077	601-650
	九州工業	専門分野型	49	_	5, 872	4, 245	1, 627	-
	長崎	地域貢献型	157	-	9, 151	7,623	1,528	551-600
	新潟	地域貢献型	159	-	12, 527	10, 372	2, 155	701+
	岡山	世界トップ型	179	牽引型	13, 115	10, 196	2, 919	551-600
	大阪府立	(公立)	-	-	7, 931	6, 092	1,839	651-700
	埼玉	地域貢献型	58	_	8, 806	7, 474	1, 332	701+
	信州	地域貢献型	136	-	11, 026	9, 199	1,827	701+
	昭和	(私立)	_	- 大コ田	3, 723	3, 204	519	_
	上智	(私立)	-	牽引型	13, 805	12, 475	1, 330	-
	東海	(私立)	-	-	30, 070	29, 008	1,062	701+
	徳島	地域貢献型	116	-	7, 647	6, 035	1,612	-
	東京海洋	専門分野型	55	_	2, 678	2, 017	661	- CE1 700
	東京理科	(私立)	107	-	19, 653	16, 518	3, 135	651-700
	鳥取	地域貢献型	107	本 川田	6, 316	5, 282	1, 034	_
	豊橋技術科学	地域貢献型	37	牽引型	2, 188	1, 206	982	
	早稲田	(私立)	_	トップ型	51, 416	42, 778	8,638	212
	横浜市立	(公立)	-	_	4, 855	4, 152	703	601-650
	横浜国立	地域貢献型	77	_	9, 925	7, 458	2, 467	651-700

越在地,越國際 接地氣、影響力

- 愛媛大學
- 岐阜大學
- 長崎大學
- 新潟大學
- 琦玉大學
- 信州大學
- 德島大學
- 鳥取大學
- 豊橋技術科學大學
- 橫濱國立大學



影響力與社會效益評估(SROI)的方向

USR/人才培育

Outreach & Engagement

路徑一:經濟價值

產學合作先行

解決社會問題

方向:創造性

資源活化、循環利用

反向分配、

路徑二:文化價值

地方文化先行

型塑生活風格

方向:自明性

場所精神、社區認同

地方特色、.....

路徑三:公共價值

社會關懷先行

帶動產業升級

方向:回應性

提高關注、居民參與

需求回應、.....

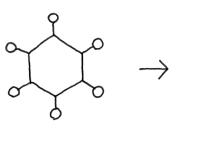
城/鄉創新的多樣性

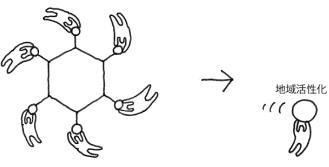
USR/人才培育

	具体的な施策	重要業績評価指標(KPI)		
地域産業の競争力強化 (分野別取組) (続き)	6次産業化の取組の推進	6次産業化の取組事例数: ●●件		
	観光振興策の実施	観光消費額: ● ●円 観光入込客数: ● ●人 外国人旅行者宿泊者数: ● ●人		
	事業への出資等を通じた太陽光発電の導入促進	大規模太陽光発電の導入量: ● ● kW		
	情報提供の強化や求人開拓活動の拡大等を通じた、 県外からの人材確保機能の強化	県外から転入して就職した者の数: ● ●人		
	産学官コーディネーターによる企業と大学のマッ チング支援等	新規に産学官連携による共同研究に参画した企 業数: ● ●社		
地方への人材還流、地方での人材育成、地方	子育で中の女性に対する就職相談・求人情報提供 等を通じた、きめ細かな就職支援の実施	女性の就業率:●●%		
の雇用対策	農用地の有効利用と流動化促進等による農業の担 い手の確保・育成	新規就農者数:●●人		
	産業界と連携したキャリア教育の実施	専門高校における長期インターンシップの実施 学科の割合: ● ● %		
	高齢者の就労支援や技能の活用	高齢者就業支援センタ の利用者数: ●●人		
ICT等の利活用による 地域の活性化	通信事業者、放送事業者等と連携した地域情報化 基盤の整備	ブロードバンドのカバー率:●●%		
	中小企業の電子商取引など産業活動におけるIT化 の推進	中小企業の電子商取引の実施率: ● ● %		

構造

プロセス









女性の活躍

海外進出







醞釀在地關懷 氛圍

培育社會實踐 人才

發酵區域創新 議題



連

結

在

地

連

結 或

際

連 結 未 來 U

S R

支 持

系

統

研究發展





社群經營



對外發聲

專業對話

策略 規劃

公共參與

雙向知識轉譯



引動

議題

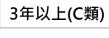
累積經驗案例

創新 擴散

1年(A類)



解方 設計





1-3年(B類)





USR獎



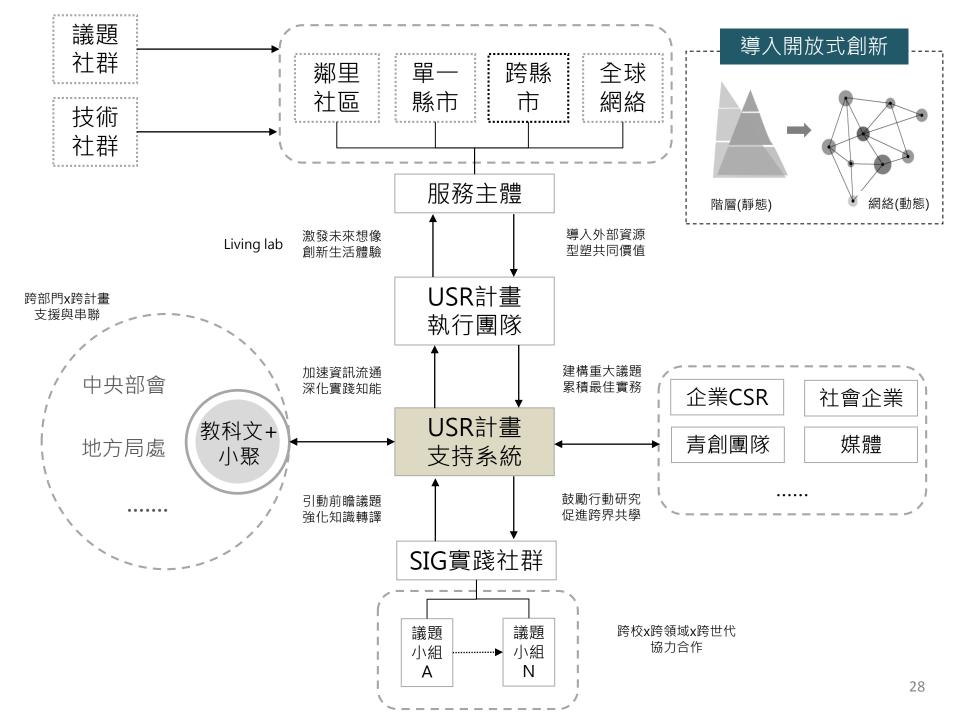
地方創生大臣賞



用吃,打通城鄉對流的任督二脈

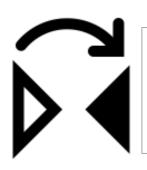


旭山動物園的動感設計









觀念 翻轉

USR不只是一個補助計畫,而是一個社會設計的過程 以開放創新(open innovation),促動大學校院在地連結

階段二 階段三 階段四 階段五 階段-問題 團隊 他川 公民 構想 參與 探索 之石 精煉 論壇3場 工作坊3場 研討會1場 Pitch Day 工作營2梯 3月下旬 4月中旬 5月中旬 4月上旬 4月下旬



3-5月培力重點工作項目 - 線下實體活動

• 階段1 - 問題探索

以議題為主辦理3場論壇,與學校溝通理念,並協助豐富議題內涵

• 階段2 - 團隊建立

以living lab作為方法論,辦理3場工作坊,讓學校了解各種運作模式 (建議該階段可以提先提交基本構想及成員名單做為「階段五」預備)

• 階段3 - 他山之石

分享參訪日本文部省及各校之經驗,引介歐美案例,拓展學校視野

• 階段4 - 公民參與

提案學校於所在場域呈現提案構想,以參與式設計的精神,邀請PO及 地方居民針對提案內容給予回饋,並將討論公民回饋紀錄上網

• 階段5 - 構想精煉

以學校提案主題為基礎,透過世界咖啡館的形式,讓每一個提案學校與各界專家可以充分交流,精準界定問題核心,設計具槓桿效益之解方₃₀



3-5月培力重點工作項目 - 線上社群經營

• 線上讀書會

導讀相關文獻篇章,讓各校夥伴了解實務案例和入世學術(engaged scholarship)的精神,也能批判性的反思大學在地連結的各項議題,導讀篇章書目舉例如下:

- (1) The civic university: the policy and leadership challenges
- (2) Can Neighborhoods Save the City?: Community Development and Social Innovation
- (3) Handbook of Engaged Scholarship: Contemporary Landscapes, Future Directions: Volume 1: Institutional Change
- (4) Journal of Higher Educational Outreach and Engagement

• 活動紀錄與報導

及時紀錄各項培力活動,並公開所有取得授權之活動講義及相關資料

Mailing list

打開有形的組織邊界,加速資訊流通、擴大先期參與者規模



很多事情,只有大學作得到,讓大學感覺被信賴、被鼓勵、被期待是我們的使命; 當大學改變看待自己的眼光,就會是台灣 社會進步的開始!



大學社會責任支持系統縣市巡迴座談



日期	時間	參與縣市	辦理地點(暫定)	
03/14	09:30-11:30	花蓮縣	國立東華大學	
	16:00-18:00	臺東縣	國立台東大學	
03/15	09:30-11:30	台中市	亞洲大學	
	13:00-15:00	彰化縣	國立彰化師範大學	
	17:00-19:00	南投縣	國立暨南國際大學	
	09:00-11:00	新竹縣、新竹市	國立清華大學	
02/16	13:00-15:00	桃園市	元智大學	
03/16	16:30-18:30	新北市	輔仁大學	
	19:30-21:30	台北市	台北醫學大學	
03/17	09:30-11:30	基隆市	國立海洋大學	
	13:30-15:30	宜蘭縣	佛光大學	
03/21	13:30-15:30	苗栗縣	國立聯合大學	
03/22	12:30-14:30	高雄市	文藻大學	
	15:30-17:30	屏東縣	美和科技大學	
	19:00-21:00	台南市	南台科技大學	
03/23	09:00-11:00	嘉義縣	國立嘉義大學	
	13:00-15:00	嘉義市	國立中正大學	
	17:00-19:00	雲林縣	國立虎尾科技大學	
03/24	09:15-11:15	金門縣	國立金門大學	
	17:00-19:00	澎湖縣	國立澎湖科技大學	

近距離與第一線夥伴溝通,釐清USR內涵,了解各校推動USR之需求與期待



論壇日期:3/29(三)、3/30(四)、3/31(五) 全天

論壇地點:3/29成大c-hub、3/30集思瑞特廳、3/31逢甲通識沙龍

論壇主題:大學的遠見與魄力

論壇內容:

學校內部治理有哪些關鍵環節需要調整?該怎麼做才能使學校在校務拓展 與社會參與的過程(O&E),將其所認定的社會責任(USR)融入治理架構之中 ,讓課程、教學、學習、體制能支持大學師生的社會實踐與社會創新?

進行方式:

上半場:邀請各校夥伴來分享其推動經驗;下半場請諮詢專家協助夥伴提煉各項經驗背後的知識架構,協助轉化案例經驗與提高學習遷移的效果,最後從韌性城鄉的發展來探討大學、企業、政府與公民能量如何整合?

報名時間:請於3/14-3/21報名

報名網址:http://www.university2025.tw/main.php



106.03.29 成功大學

C-hub

時間	活動內容(講者暫列,邀請中)		
09:50-10:10	報到		
10:10-10:20	致詞		
	案例分享與實務交流		
	主持人:吳明錡(教育部大學社會責任支持系統計畫共同主持人)		
10:20-12:00	◎分享人:洪慶宜(長榮大學國際珍古德根與芽生態教育中心主任)		
	◎分享人:王筱雯(國立成功大學水利及海洋工程學系副教授)		
	○分享人:吳瑪悧(國立高雄師範大學跨領域藝術研究所教授)		
12:00-13:10	茶敘		
	從痛點尋找創新來源		
	主持人:林從一(教育部大學社會責任支持系統計畫主持人)		
	引言人:洪慶宜(長榮大學職業安全與衛生學系助理教授)		
	引言人:王筱雯(國立成功大學水利及海洋工程學系副教授)		
	引言人:吳瑪悧(國立高雄師範大學跨領域藝術研究所教授)		
13:10-15:10	與談人:林崇熙(國立雲林科技大學前瞻學位學程主任)		
	與談人:呂佩怡(國立台北教育大學文化創意產業學系助理教授)		
	與談人:翟本瑞(逢甲大學通識教育中心主任)		
	觀察員:蕭麗虹(竹圍工作室創辦人)		
	觀察員:柯勇全(農委會水土保持局農村組科長)		
	觀察員:賴建信(經濟部水利署署長)		
15:10-15:30	茶叙		
	跨界合創,引動城鄉發展新未來		
	主持人:林從一(教育部大學社會責任支持系統計畫主持人)		
15:30-17:30	與談人:柯勇全(農委會水土保持局農村組科長)		
	與談人:蕭麗虹(竹圍工作室創辦人)		
	與談人:賴建信(經濟部水利署署長)		



106.03.30

臺北科技大學

集思瑞特廳

時間	活動內容(講者暫列,邀請中)			
09:50-10:10	報到			
10:10-10:20	致詞			
	案例分享與實務交流			
	主持人:吳明錡(教育部大學社會責任支持系統計畫共同主持人)			
10:20-12:00	◎分享人:王 玫(東南科技大學通識教育中心助理教授)			
	◎分享人:陳建德(國立中興大學農藝學系助理教授)			
	◎分享人:王俊程(清華大學服務科學研究所教授)			
12:00-13:10	茶敘			
	從痛點尋找創新來源			
	主持人: 林從一(教育部大學社會責任支持系統計畫主持人)			
	引言人:王 玫(東南科技大學通識教育中心助理教授)			
	引言人:王俊程(清華大學服務科學研究所教授)			
	引言人:陳建德(國立中興大學農藝學系助理教授)			
13:10-15:10	與談人:蘇昭瑾(國立臺北科技大學研究發展處處長)			
	與談人:鍾怡婷(國立成功大學人文社會科學中心博士後研究員)			
	與談人:唐傳義(靜宜大學校長)			
	觀察員:李應平(台灣好基金會執行長)			
	觀察員:謝昇佑(好食機創辦人)			
	觀察員:樊欣佩(Minicook 執行長)			
15:10-15:30	茶敘			
	跨界合創,引動城鄉發展新未來			
	主持人:林從一(教育部大學社會責任支持系統計畫主持人)			
15:30-17:00	與談人:樊欣佩(Minicook 執行長)			
	與談人:李應平(台灣好基金會執行長)			
	與談人:謝昇佑(好食機創辦人)			



106.03.31

逢甲大學

通識沙龍

時間	活動內容(講者暫列,邀請中)			
09:50-10:10	報到			
10:10-10:20	致詞			
	案例分享與實務交流			
	主持人:吳明錡(教育部大學社會責任支持系統計畫共同主持人)			
10:20-12:00	◎分享人:張文山(國立雲林科技大學數位媒體設計系助理教授)			
	○分享人:張力亞(國立暨南大學通識教育中心助理教授)			
	○分享人:李慶芳(實踐大學國際貿易學系副教授)			
12:00-13:10	茶敘			
	從痛點尋找創新來源			
	主持人:林從一(教育部大學社會責任支持系統計畫主持人)			
	引言人:張文山(國立雲林科技大學數位媒體設計系助理教授)			
	引言人:張力亞(國立暨南大學通識教育中心助理教授)			
	引言人:李慶芳(實踐大學國際貿易學系副教授)			
13:10-15:10	與談人:高明瑞(文藻大學國際企業管理學系教授)			
	與談人:黃麗玲(國立臺灣大學建築與城鄉研究所副教授)			
	與談人:陳蕙芬(國立台北教育大學教育學系副教授)			
	觀察員:張正衡(臺灣大學人類學系助理教授)			
	觀察員:楊淑華(文化部文化資源司文化資源研發科長)			
	觀察員:許主冠(台灣城鄉特色發展協會理事長)			
15:10-15:30	茶敘			
	跨界合創,引動城鄉發展新未來			
	主持人:林從一(教育部大學社會責任支持系統計畫主持人)			
15:30-17:00	與談人:張正衡(臺灣大學人類學系助理教授)			
	與談人:楊淑華(文化部文化資源司文化資源研發科長)			
	與談人:許主冠(台灣城鄉特色發展協會理事長)			

活動日期: 4/11(二)、4/12(三)、4/13(四)

活動地點:待定

活動主題:

1.主題一:洞察在地問題的多元路徑

2.主題二:平台策略與價值創新

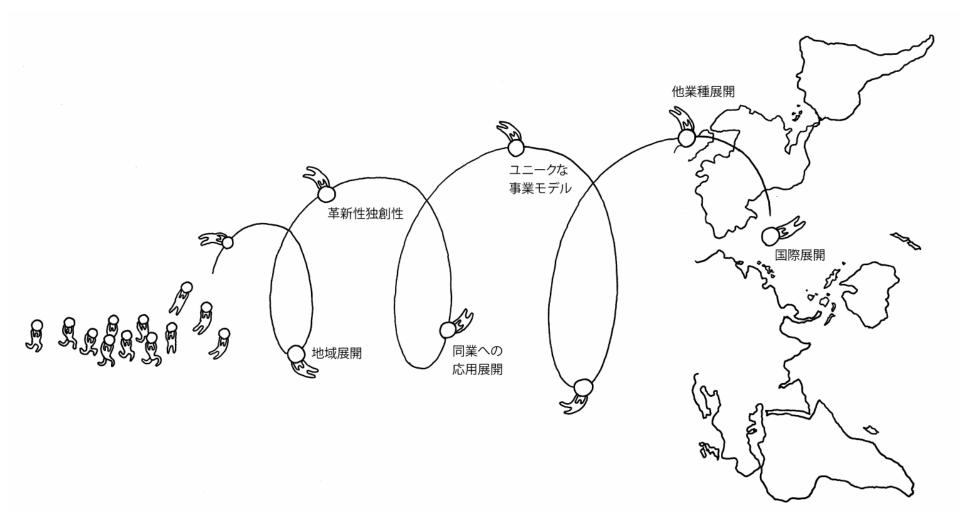
3.主題三:影響力與社會效益評估

進行方式:請與會夥伴依參加主題,於活動前提交2頁構想,作為報名審核依據

報名時間:請於3/29-4/5報名

報名網址:http://www.university2025.tw/main.php













▼ HFCC人文及社會科學知識跨界應用能力培育計畫













新作坊







Humanity Innovation and Social Practice